

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法概論 I		講義	鮫島 一雄	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
60 時間 (4 単位)		30 回	1 年次	通年
授業の目的・概要				
本講義は皆さんが目標としている理学療法士になるための海図のようなものです。理学療法および理学療法士とは何なのかをしっかりと考え理解し、自分自身の理想とする理学療法・理学療法士像を考えることができるようになることを目的とする。授業では、理学療法の概略を説明し、今後学んでいく科目内容を具体的に説明する。しかし船を動かすのは皆さんです。各自の自主性が大切です。				
授業の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・医学用語を読むことができる ・理学療法の専門用語を知る ・理学療法士作業療法士法を理解する ・理学療法士の現状を知る ・理学療法士の資質面の重要性を知る ・理学療法業務を知る ・基礎医学の必要性を知る ・臨床医学の必要性を知る ・理学療法と倫理・哲学の関連を理解する 				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション			
2	PTOT法1 医療法	単語テスト1	16	理学療法士ガイド1 脳卒中
3	PTOT法2 定義	単語テスト2	17	理学療法士ガイド2 変形性関節症
4	PTOT法3 医師の指示	単語テスト3	18	理学療法士ガイド3 脊髄損傷
5	PTOT法4 医師法	単語テスト4	19	理学療法士ガイド4 知的・精神障害
6	PTOT法5 名称独占	単語テスト5	20	理学療法士ガイド5 職場の種類, 地域リハビリテーション
7	PTOT法6 国家試験	単語テスト6	21	理学療法の広場1 ショック期
8	PTOT法7 免許	単語テスト7	22	理学療法の広場2 一時帰宅
9	PTOT法8 登録	単語テスト8	23	理学療法の広場3 理学療法開始
10	PTOT法9 秘密遵守	単語テスト9	24	理学療法の広場4 禁止事項
11	PTOT法10 医療行為	単語テスト10	25	理学療法の広場5 PTへの思い
12	理学療法および理学療法士の現状と課題1 開業権		26	理学療法士の業務1 日々の業務
13	理学療法および理学療法士の現状と課題2 白書		27	理学療法士の業務2 治療効果
14	医療職に必要な資質1 挨拶		28	理学療法と倫理・哲学1 ターミナル
15	医療職に必要な資質2 行為		29	理学療法と倫理・哲学2 障害
			30	まとめと解説
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート				
小テスト		授業中に適宜行い、総合評価に加味する		
平常点	20%	授業への出席状況と授業態度等		
その他				
自由記載	学年末(定期)試験のみ行う。小テストと平常点で70点以上は学年末(定期)試験を免除する。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
概説理学療法第2版	有馬慶美 編集		文光堂	
電子辞書				
自由記載	必要に応じてプリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				